

2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査

2018年8月



- 内容 大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
- 実施期間 2018年6月15日～2017年7月13日
- 調査対象 全国の大学就職支援担当部署・窓口
- 調査方法 以下のいずれかの方法で回答
- ・WEBフォームへ入力
 - ・回答用紙をFAXにて返送もしくは弊社担当者へ手渡し

回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	86	273	359
キャンパス別の回答数	23	106	129
総計	109	379	488

※キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	12	17	26
東北	12	28	44
関東	16	127	170
甲信越	8	18	26
北陸	9	10	13
東海	10	45	59
関西	15	78	108
中国	11	19	34
四国	5	5	13
九州	11	32	41
総計	109	379	488

■本資料について資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: hrrc@mynavi.jp

□質問事項

1) 2019年卒向け就職ガイダンスについて	学生の延べ参加人数の増減【前期・インターンシップガイダンス・夏休み明け～年末・年明け・全期間】 開催回数の増減 2019年卒及び2020年卒の就職ガイダンス開始時期 2019年卒→2020年卒の開始時期の変化
2) 2019年卒向けの求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について	求人(票)の受付社数の増減 求人票の受付延べ件数(2018卒、2019卒) 求人票の到着件数が一番多い月 企業人事訪問社数の増減 キャリアセンターへの負荷増減 キャリアセンターのミッションでの優先順位 障がいのある学生への就職支援の取り組み 【理系】学校推薦状発行開始時期
3) 2019年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて	業界研究セミナー実施の有無 2019年卒学生の延べ参加人数の増減・増減割合 開催回数(日数)の増減 2019年卒・2020年卒向け業界研究セミナー開始時期
4) 2019年卒向けの採用広報を目的とした学内企業説明会について	学内企業説明会実施の有無 2019年卒向け延べ参加企業数平均 2019年卒の延べ参加人数の増減・増減割合 2019年卒向けから新規参入の企業数平均 開催回数(日数)の増減 2019年卒・2020年卒向け学内企業説明会開始時期
5) 新卒紹介について	新卒紹介における各校の状況 新卒紹介の案内開始希望月 新卒紹介における今後の対応
6) 保護者向けガイダンスについて	保護者向けガイダンスの有無 保護者向けガイダンスの内容 2018年度平均実施回数(予定含む) 2018年度実施月(予定含む) 2017年度延べ参加人数の増減・増減割合
7) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて	キャリア教育実施の有無 キャリア教育の実施回数の増減 キャリア教育の開始時期 大学で実施する、単位認定をしているインターンシップの有無 インターンシップの経験は、学生の就職活動の結果に対してよい影響を及ぼすか 有償インターンシップについて 低学年向けアセスメントツール実施の有無
8) グローバル人材について	外国人留学生の国内就職希望者数平均・分布 外国人留学経験者向けプログラムの内容 就職支援の実施・実施予定の有無 今後取り組みたいプログラム 外国人留学生向け就職支援プログラムの内容 マイナビの日本人留学生就職支援についての認知度 今後取り組みたいプログラムの内容 日本人留学経験者への特別な就職支援の有無
9) 理想とする、就職活動に最も適したスケジュール	2021年卒の就職活動における広報活動開始時期の希望 理想の広報開始月 2021年卒の就職活動における選考開始時期の希望 理想の選考開始月
10) 自由記述	昨今のインターンシップ事情について 有償のインターンシップについて 今後の就職支援について

□調査結果 概要

■1) 就職ガイダンスについて(P4-6)

2019年卒学生の就職ガイダンスについて、インターンシップガイダンスの参加人数が「増加」との回答が前年比2.2pt増の38.3%となっている。国公立大学は42.2%が「増加」と回答しており、インターンシップが学生から注目されていたことがわかる。就職ガイダンス全期間の延べ参加人数を経年でみると、2019年卒は2017年卒との比較で「減少」が5.5pt増の26.3%となり、かつ「増加」の24.4%を上回っている。同じ開催回数では「減らした」が増加傾向にある。売り手市場を背景に、参加人数が減少傾向にあることが開催回数にも影響を与えているようだ。就職ガイダンス開始時期については4月、5月に集中。2020年卒では4月開始の大学が41.2%と更に高まりをみせている。

■2) 求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について (P7-8)

求人(票)の受付社数を時系列でみると、2016年卒から2018年卒までの3年間は「増加」が5割を超えていたが、本年度は46.6%(前年比3.4pt減)と5割を下回った。一方「減少」は10.7%と前年より3.8pt増加しており、それぞれで変化があった。今年度初めて聞いた、障がいのある学生への就職支援の取り組みについては、「個別相談等の対応」が、全体で88.9%と抜きん出ている。特に私立大学では91.4%と国立大学の80.2%よりも11.2pt多かった。「障がいのある学生のみ対象のガイダンス」についても、国公立の2.8%に対し私立は10.8%と障がいのある学生に対しての就職支援により注力しているように見える。理系推薦時期は、3月以前の合計が14.9%と前年に比べ5.0pt増加しており、学校推薦状の発行も前倒しされている。

■3) 採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて (P9-10)

採用広報を目的としない業界研究セミナーは、全体で80.5%(前年比2.6pt増)の大学が実施している。国公立、私立で比較すると、国公立の87.7%に対し私立は78.4%と、約10pt実施率が高い。一方で参加人数は、「増加」が前年比4.8pt減少、「減少」が7.1pt増加と、実施率の増加と逆行する学生の動きがみえる。開催回数は、「前年度並み」が5.1pt増加、「増やした」大学は6.5pt減少していることから業界セミナーの開催回数は依然増加傾向にあるものの、実施率は落ち着いてきたようだ。開催時期については、2019年卒、2020年卒ともに10月～12月に集中しているものの、2020年卒では10月の割合が増加し11、12月が減少するなど前倒し傾向にある。

■4) 採用広報を目的とした学内企業説明会について(P11-13)

学内企業説明会実施率は88.3%と、前年とほぼ変わらない状況である。参加人数は「減った」が37.9%で前年を7.5pt上回り、参加人数は減少傾向にある。特に国公立では半数近く(47.2%)が「減った」と回答している。開催回数を「増やした/増やす予定」は全体で19.9%で前年比4.1pt減少しているが、私立の20.6%に比べ、国公立は17.2%とその割合は低かった。開催回数を「前年度並み」とする大学が多いにも関わらず、学生の参加人数は減少傾向にあることから、この売り手市場の中で、学生が大学に先んじて独自の行動をしていることが推察される。

■5) 新卒紹介について (P14)

新卒紹介における各校の状況は、半数近くの大学が「特に何もしていない」と回答している。希望学生に対しての新卒紹介の案内開始希望月は、各月に分散している傾向が強いが、広報活動開始月と同じ3年次3月が18.2%で最も高かった。

■6) 保護者向けガイダンスについて (P15-16)

保護者向けのガイダンス実施率(毎年実施と不定期に実施の合計)は、全体で60.6%であったが、国公立の35.2%に対して、私立は68.0%の実施率であった。また、年間の平均実施回数でも国公立の1.5回に対して私立は4.1回と、私立が保護者へより手厚い対応を行っているようだ。参加人数の増減を聞いたところ、「増加」は前年より6.5pt減の10.1%、「減少」は前年より4.4pt増の12.7%と、以前に比べて子どもの就職活動への保護者の興味が、若干だが減ってきているように見える。売り手市場であるという認識が放っておいても大丈夫だという安心感につながっているとも推察できる。

■7) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて(P17-18)

キャリア教育の実施の有無については88.2%の大学が実施していると回答。早期からのキャリア教育(正課)が定着してきている。キャリア教育の実施回数を前年より「増やしている」大学は13.7%(前年比1.8pt減)で、前年まで続いていた増加傾向に僅かではあるが変化がみられた。大学で実施する、単位認定等を行うインターンシップの有無に関しては8割以上の大学が「ある」と回答した。国公立では86.8%と9割近い。「インターンシップの経験が学生の就職活動結果に良い影響を及ぼすと思うか」という質問では「(非常に+一定の)効果があると思う」という回答が96.9%にのぼり、低学年からのキャリア教育が職業観涵養や就職活動の一助を担っているといえる。有償インターンシップについて聞いたところ、「(あまり+まったく)推奨したくない」が31.4%で、「推奨したい(積極的に含む)」の22.4%を約10pt上回っていた。

■8) グローバル人材について (P19-20)

日本国内での就職を希望する外国人留学生の全体の平均は18.3人と、前年の20.0人を1.7人下回っていたが、国公立では32.1人と全体平均を大きく上回っていた。外国人留学生に対する「就職支援を実施している(実施している+今年度実施予定はある)」大学は、全体の75.5%と3/4であった。日本人の留学経験者への特別な就職支援については、「実施している」(実施している+今年度初めて行う予定がある)との回答は20.6%で、前年より僅かではあるが増加している。支援を実施している大学で行っている内容は「留学出発前の就職ガイダンス」(62.2%)が最も多かった。今後注力したいプログラムでは「留学帰国後の就職ガイダンス」(53.1%)、「留学前の就職ガイダンス」(51.0%)が半数を超えており、留学前後のガイダンスに注力していきたいという姿勢がみえる。

■9) 就職活動スケジュールについて(P21-22)

2021年卒の就職活動スケジュールについて現状と比較して希望を聞いたところ、広報活動開始時期、選考開始時期ともに6割ほどが現状維持」と回答している。理想の広報活動開始月も、現状と同様の3年次3月が42.2%と最も多く、3年次の12月が31.8%と続いている。理想の選考開始月も現状の4年次6月(33.3%)、4年次4月(24.6%)の回答が多いことから、定着してきた(いた)スケジュールからの大きな変化は望んでいないことがわかる。

1) 就職ガイダンスについて

2019年卒学生の

延べ参加人数の増減【前期】

	全体(n=476)	国公立(n=105)	私立(n=371)	参考:前年調査
増加	21.8%	25.7%	20.8%	24.7%
前年度並み	56.9%	44.8%	60.4%	55.5%
減少	21.2%	29.5%	18.9%	19.8%

延べ参加人数の増減【インターンシップガイダンス】

	全体(n=459)	国公立(n=102)	私立(n=357)	参考:前年調査
増加	38.3%	42.2%	37.3%	36.1%
前年度並み	49.7%	43.1%	51.5%	53.1%
減少	12.0%	14.7%	11.2%	10.8%

延べ参加人数の増減【夏休み明け～年末】

	全体(n=465)	国公立(n=103)	私立(n=362)	参考:前年調査
増加	18.9%	19.4%	18.8%	19.1%
前年度並み	53.5%	42.7%	56.6%	56.8%
減少	27.5%	37.9%	24.6%	24.2%

延べ参加人数の増減【年明け】

	全体(n=464)	国公立(n=101)	私立(n=363)	参考:前年調査
増加	21.8%	23.8%	21.2%	23.8%
前年度並み	54.7%	46.5%	57.0%	57.1%
減少	23.5%	29.7%	21.8%	19.2%

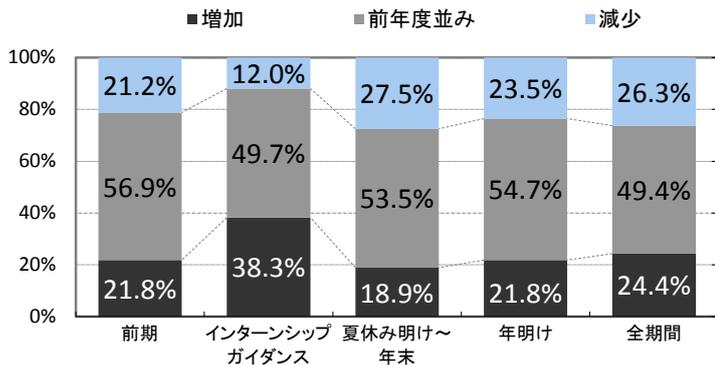
延べ参加人数の増減【全期間】

	全体(n=472)	国公立(n=105)	私立(n=367)	参考:前年調査
増加	24.4%	22.9%	24.8%	23.8%
前年度並み	49.4%	41.0%	51.8%	54.3%
減少	26.3%	36.2%	23.4%	21.9%

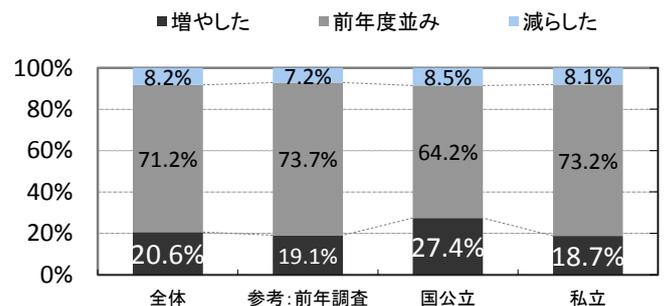
2019年卒向け就職ガイダンス開催回数の増減

	全体(n=475)	国公立(n=106)	私立(n=369)	参考:前年調査
増やした	20.6%	27.4%	18.7%	19.1%
前年度並み	71.2%	64.2%	73.2%	73.7%
減らした	8.2%	8.5%	8.1%	7.2%

学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】(全体)



就職ガイダンス開催回数の増減



延べ参加人数の増減(2016年卒～19年卒)

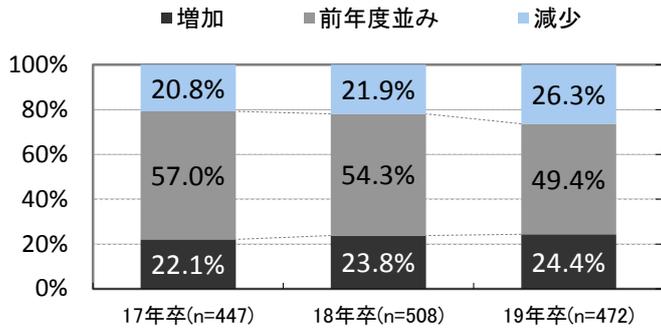
	17年卒(n=447)	18年卒(n=508)	19年卒(n=472)
増加	22.1%	23.8%	24.4%
前年度並み	57.0%	54.3%	49.4%
減少	20.8%	21.9%	26.3%

就職ガイダンス開催回数の増減(2016年卒～19年卒)

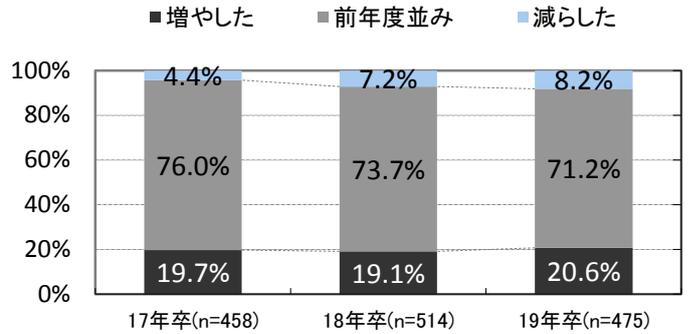
	17年卒(n=458)	18年卒(n=514)	19年卒(n=475)
増やした	19.7%	19.1%	20.6%
前年度並み	76.0%	73.7%	71.2%
減らした	4.4%	7.2%	8.2%

<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

学生の延べ参加人数の増減(2017年卒～2018年卒)



就職ガイダンス開催回数増減(2017年卒～2018年卒)



就職ガイダンスの開始時期

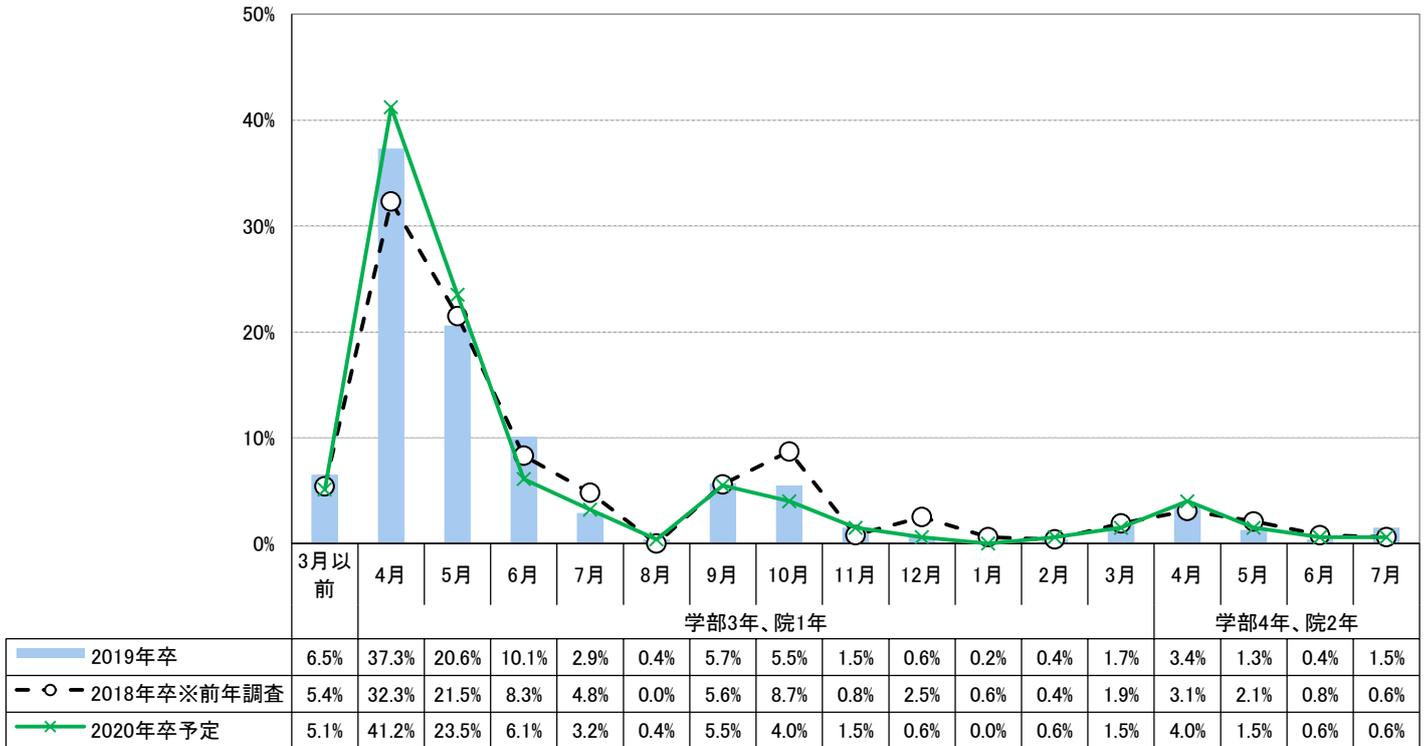
2019年卒向け 就職ガイダンスの開始時期

	全体(n=475)	国公立(n=106)	私立(n=369)	参考:前年調査
2017年3月以前	6.5%	0.9%	8.1%	5.4%
2017年4月	37.3%	30.2%	39.3%	32.3%
2017年5月	20.6%	31.1%	17.6%	21.5%
2017年6月	10.1%	14.2%	8.9%	8.3%
2017年7月	2.9%	4.7%	2.4%	4.8%
2017年8月	0.4%	0.9%	0.3%	-
2017年9月	5.7%	1.9%	6.8%	5.6%
2017年10月	5.5%	5.7%	5.4%	8.7%
2017年11月	1.5%	2.8%	1.1%	0.8%
2017年12月	0.6%	-	0.8%	2.5%
2018年1月	0.2%	-	0.3%	0.6%
2018年2月	0.4%	0.9%	0.3%	0.4%
2018年3月	1.7%	-	2.2%	1.9%
2018年4月	3.4%	2.8%	3.5%	3.1%
2018年5月	1.3%	-	1.6%	2.1%
2018年6月	0.4%	-	0.5%	0.8%
2018年7月以降	1.5%	3.8%	0.8%	1.2%

2020年卒向け 就職ガイダンスの開始予定時期

	全体(n=473)	国公立(n=106)	私立(n=367)	参考:前年調査
2018年3月以前	5.1%	0.9%	6.3%	5.4%
2018年4月	41.2%	35.8%	42.8%	35.3%
2018年5月	23.5%	35.8%	19.9%	21.7%
2018年6月	6.1%	6.6%	6.0%	8.3%
2018年7月	3.2%	3.8%	3.0%	4.1%
2018年8月	0.4%	-	0.5%	0.2%
2018年9月	5.5%	1.9%	6.5%	5.4%
2018年10月	4.0%	4.7%	3.8%	7.6%
2018年11月	1.5%	2.8%	1.1%	0.4%
2018年12月	0.6%	-	0.8%	2.1%
2019年1月	-	-	-	0.2%
2019年2月	0.6%	0.9%	0.5%	-
2019年3月	1.5%	-	1.9%	1.2%
2019年4月	4.0%	3.8%	4.1%	2.7%
2019年5月	1.5%	-	1.9%	2.7%
2019年6月	0.6%	0.9%	0.5%	0.8%
2019年7月以降	0.6%	1.9%	0.3%	1.7%

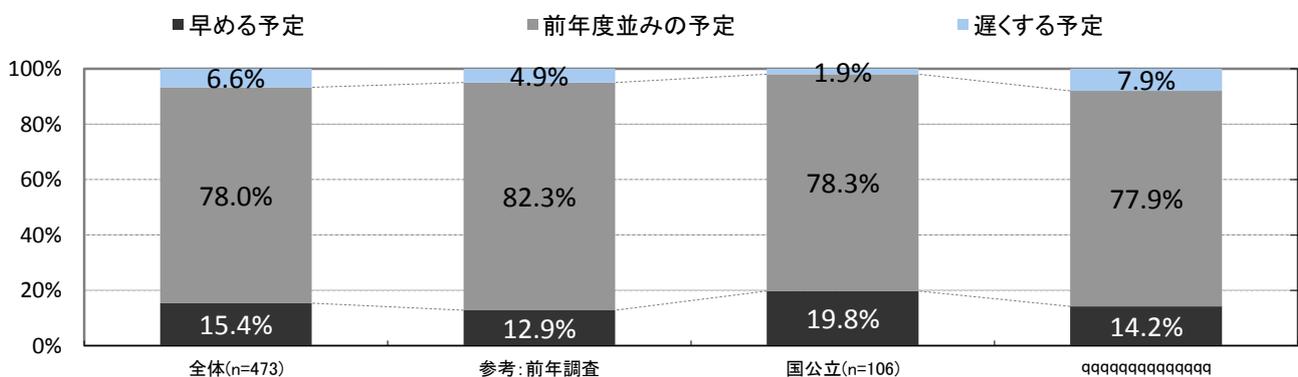
就職ガイダンスの開始時期



2019年卒→2020年卒の開始時期の変化

	全体(n=473)	国公立(n=106)	私立(n=367)	参考:前年調査
早める予定	15.4%	19.8%	14.2%	12.9%
前年度並みの予定	78.0%	78.3%	77.9%	82.3%
遅くする予定	6.6%	1.9%	7.9%	4.9%

2019年卒→2020年卒の開始時期の変化



2) 求人(票)の受付や障がいのある学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について

求人(票)の受付社数の増減	全体(n=466)	国公立(n=101)	私立(n=365)	参考:前年調査
増加	46.6%	44.6%	47.1%	50.0%
前年度並み	42.7%	40.6%	43.3%	43.1%
減少	10.7%	14.9%	9.6%	6.9%

求人(票)の受付社数の増減(2016年卒-2019年卒)	16年卒(n=496)	17年卒(n=427)	18年卒(n=510)	19年卒(n=466)
増加	55.8%	52.2%	50.0%	46.6%
前年度並み	37.1%	44.5%	43.1%	42.7%
減少	7.1%	3.3%	6.9%	10.7%

	全体(n=347)	国公立(n=79)	私立(n=268)	参考:前年調査
求人票の2018年卒の受付延べ件数平均	6,008	5,467	6,167	5,637

	全体(n=314)	国公立(n=68)	私立(n=246)	参考:前年調査
求人票の2019年卒の受付延べ件数平均	5,351	5,500	5,310	4,389

求人票の到着が一番多い月	全体(n=449)	国公立(n=97)	私立(n=352)	参考:前年調査
1月	3.3%	3.1%	3.4%	1.7%
2月	33.4%	28.9%	34.7%	29.7%
3月	46.5%	57.7%	43.5%	50.4%
4月	5.6%	2.1%	6.5%	6.4%
5月	3.1%	4.1%	2.8%	3.5%
6月	3.3%	2.1%	3.7%	3.9%
7月	2.0%	-	2.6%	2.7%
8月	0.7%	-	0.9%	0.2%
9月	1.3%	1.0%	1.4%	0.8%
10月	-	-	-	-
11月	0.2%	-	0.3%	0.2%
12月	0.4%	1.0%	0.3%	0.4%

人事担当者がキャリアセンターに求人を持参した社数	全体(n=466)	国公立(n=104)	私立(n=362)	参考:前年調査
増えた	40.6%	34.6%	42.3%	42.2%
前年度並み	54.3%	55.8%	53.9%	54.4%
減った	5.2%	9.6%	3.9%	3.4%

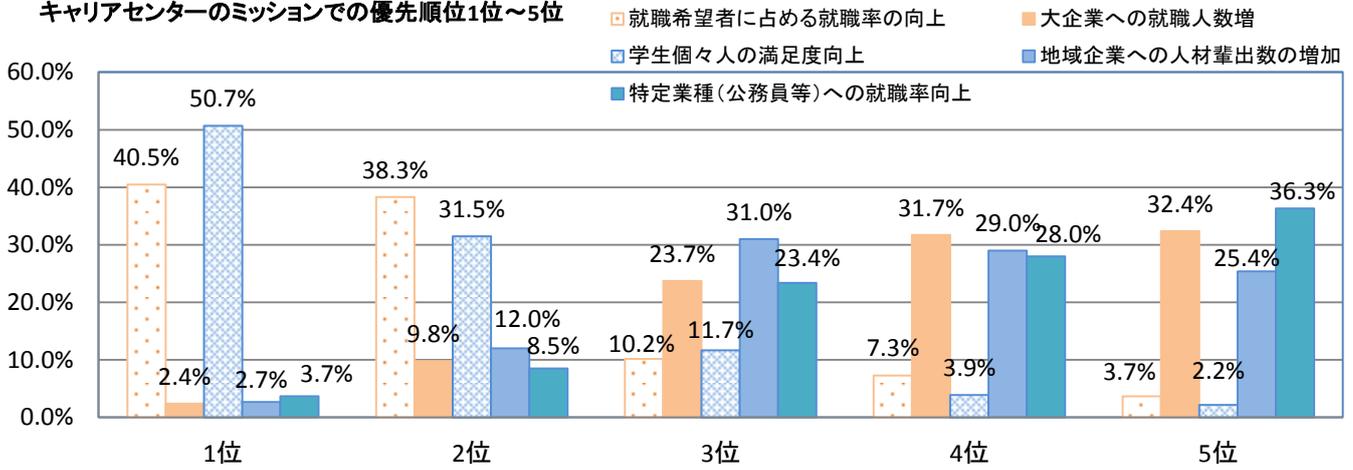
キャリアセンターの負荷は18年卒と比べて	全体(n=472)	国公立(n=104)	私立(n=368)	参考:前年調査
増えた	40.7%	32.7%	42.9%	40.5%
影響ない	57.0%	63.5%	55.2%	57.6%
減った	2.3%	3.8%	1.9%	1.9%

キャリアセンターのミッションでの優先順位1位	全体(n=410)	国公立(n=83)	私立(n=327)	参考:前年調査
就職希望者に占める就職率の向上	40.5%	38.6%	41.0%	43.8%
大企業への就職人数増	2.4%	-	3.1%	2.9%
学生個々人の満足度向上	50.7%	50.6%	50.8%	47.8%
地域企業への人材輩出数の増加	2.7%	8.4%	1.2%	2.4%
特定業種(公務員等)への就職率向上	3.7%	2.4%	4.0%	3.1%

キャリアセンターのミッションでの優先順位 1位~5位(全体(n=410))	優先順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
就職希望者に占める就職率の向上	40.5%	38.3%	10.2%	7.3%	3.7%
大企業への就職人数増	2.4%	9.8%	23.7%	31.7%	32.4%
学生個々人の満足度向上	50.7%	31.5%	11.7%	3.9%	2.2%
地域企業への人材輩出数の増加	2.7%	12.0%	31.0%	29.0%	25.4%
特定業種(公務員等)への就職率向上	3.7%	8.5%	23.4%	28.0%	36.3%

<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

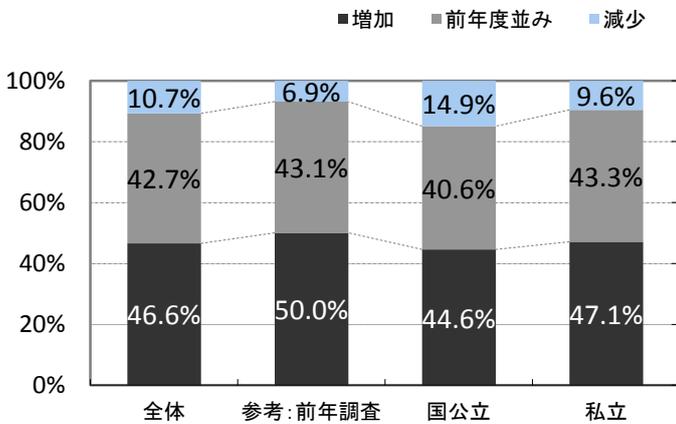
キャリアセンターのミッションでの優先順位1位～5位



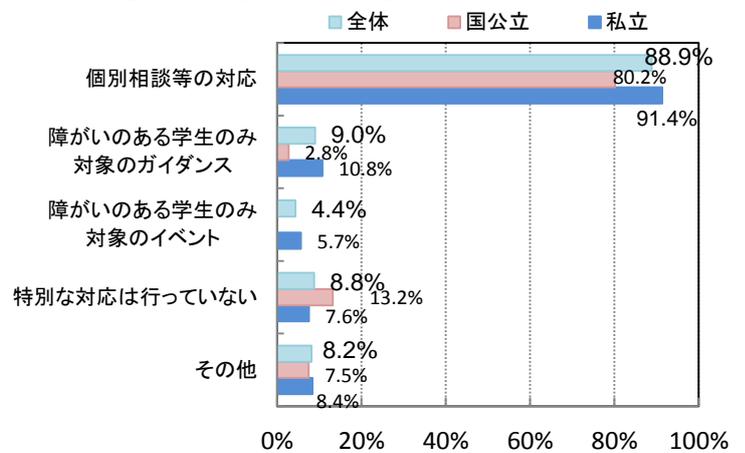
障がいのある学生への就職支援の取り組み(複数回答)

	全体(n=476)	国公立(n=106)	私立(n=370)
障がいのある学生のみ対象のガイダンス	9.0%	2.8%	10.8%
障がいのある学生のみ対象のイベント	4.4%	-	5.7%
個別相談等の対応	88.9%	80.2%	91.4%
特別な対応は行っていない	8.8%	13.2%	7.6%
その他	8.2%	7.5%	8.4%

求人(票)受付社数の増減



障がいのある学生への就職支援の取り組み



※推薦状を発行する予定の学校のみ集計

【理系】学校推薦状発行開始時期

時期	全体(n=161)	国公立(n=55)	私立(n=106)	参考:前年調査	
2018年2月以前	2.5%	5.5%	0.9%	0.6%	
3月	上旬	6.8%	3.6%	8.5%	6.4%
	中旬	3.7%	3.6%	3.8%	0.6%
	下旬	1.9%	1.8%	1.9%	2.3%
4月	上旬	14.3%	10.9%	16.0%	12.2%
	中旬	1.9%	1.8%	1.9%	1.7%
	下旬	1.9%	3.6%	0.9%	4.7%
5月	上旬	3.7%	1.8%	4.7%	2.3%
	中旬	1.9%	-	2.8%	1.2%
	下旬	1.2%	-	1.9%	1.2%
6月	上旬	56.5%	65.5%	51.9%	60.5%
	中旬	0.6%	-	0.9%	1.2%
	下旬	0.6%	-	0.9%	1.2%
6月	上旬	56.5%	65.5%	51.9%	60.5%
	中旬	0.6%	-	0.9%	1.2%
	下旬	0.6%	-	0.9%	1.2%
7月以降	2.5%	1.8%	2.8%	4.1%	

3)2019年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて

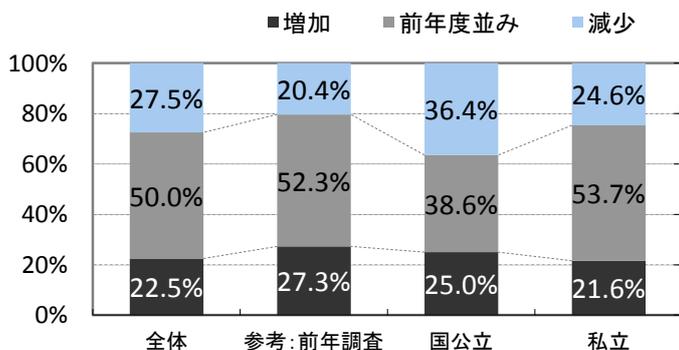
採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施	全体(n=477)	国公立(n=106)	私立(n=371)	参考:前年調査
実施している	80.5%	87.7%	78.4%	77.9%
実施していない	19.5%	12.3%	21.6%	22.1%

2019年卒学生の延べ参加人数は2018年卒と比較して	全体(n=356)	国公立(n=88)	私立(n=268)	参考:前年調査
増加	22.5%	25.0%	21.6%	27.3%
前年度並み	50.0%	38.6%	53.7%	52.3%
減少	27.5%	36.4%	24.6%	20.4%

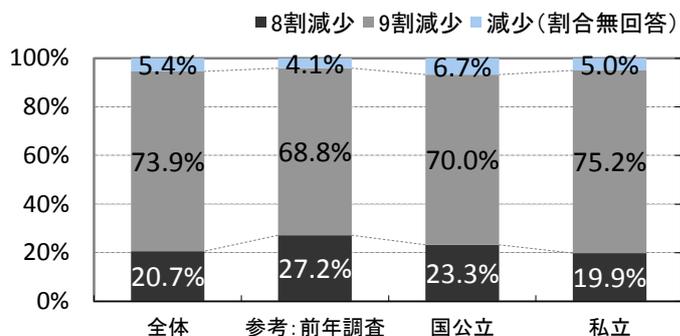
2019年卒学生の延べ参加人数の増減の割合	全体(n=356)	国公立(n=88)	私立(n=268)	参考:前年調査
10割以上増加	0.3%	-	0.4%	1.9%
9割増加	0.3%	-	0.4%	-
8割増加	0.3%	-	0.4%	0.3%
7割増加	0.3%	-	0.4%	0.3%
6割増加	1.1%	2.3%	0.7%	0.5%
5割増加	1.4%	2.3%	1.1%	1.3%
4割増加	0.8%	-	1.1%	1.3%
3割増加	2.5%	4.5%	1.9%	2.9%
2割増加	5.6%	3.4%	6.3%	6.1%
1割増加	5.6%	6.8%	5.2%	8.2%
増加(割合無回答)	4.2%	5.7%	3.7%	4.5%
前年度並み(増減はなさそう)	50.0%	38.6%	53.7%	52.3%
1割減少	6.7%	9.1%	6.0%	4.8%
2割減少	8.7%	11.4%	7.8%	5.3%
3割減少	4.5%	6.8%	3.7%	3.2%
4割減少	2.5%	2.3%	2.6%	1.9%
5割減少	-	-	-	0.8%
6割減少	0.6%	1.1%	0.4%	0.5%
7割減少	0.3%	-	0.4%	-
8割減少	0.3%	1.1%	-	0.3%
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	3.9%	4.5%	3.7%	3.7%

業界研究セミナー開催回数(日数)は2018年卒と比べて	全体(n=372)	国公立(n=90)	私立(n=282)	参考:前年調査
増やした	20.7%	23.3%	19.9%	27.2%
前年度並み	73.9%	70.0%	75.2%	68.8%
減らした	5.4%	6.7%	5.0%	4.1%

業界研究セミナー学生の参加人数2018年卒との比較



業界研究セミナー開催回数2018年卒との比較



<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

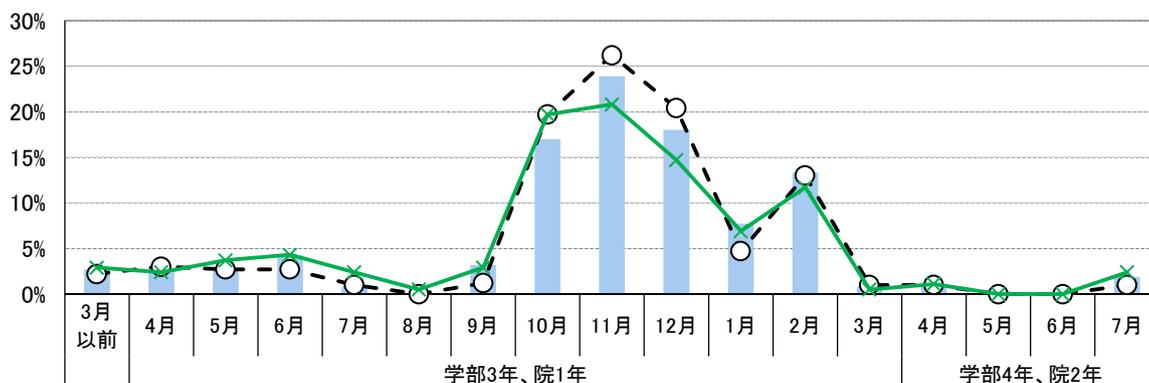
※前年調査

2019年卒向け業界研究セミナーの開始時期	全体(n=377)	国公立(n=92)	私立(n=285)	参考:18年卒※
2017年3月以前	2.7%	2.2%	2.8%	2.2%
2017年4月	2.4%	3.3%	2.1%	3.0%
2017年5月	2.9%	4.3%	2.5%	2.7%
2017年6月	4.2%	3.3%	4.6%	2.7%
2017年7月	0.8%	1.1%	0.7%	1.0%
2017年8月	-	-	-	-
2017年9月	3.2%	-	4.2%	1.2%
2017年10月	17.0%	23.9%	14.7%	19.7%
2017年11月	23.9%	30.4%	21.8%	26.2%
2017年12月	18.0%	12.0%	20.0%	20.4%
2018年1月	7.7%	9.8%	7.0%	4.7%
2018年2月	13.3%	6.5%	15.4%	13.0%
2018年3月	0.8%	-	1.1%	1.0%
2018年4月	1.1%	-	1.4%	1.0%
2018年5月	0.3%	1.1%	-	-
2018年6月	-	-	-	-
2018年7月以降	1.9%	2.2%	1.8%	1.0%

※前年調査

2020年卒向け業界研究セミナーの開始時期	全体(n=375)	国公立(n=92)	私立(n=283)	参考:19年卒※
2018年3月以前	2.9%	1.1%	3.5%	1.5%
2018年4月	2.4%	4.3%	1.8%	3.0%
2018年5月	3.7%	4.3%	3.5%	3.5%
2018年6月	4.3%	5.4%	3.9%	4.8%
2018年7月	2.4%	2.2%	2.5%	1.0%
2018年8月	0.5%	1.1%	0.4%	-
2018年9月	2.9%	-	3.9%	1.8%
2018年10月	19.7%	23.9%	18.4%	18.3%
2018年11月	20.8%	27.2%	18.7%	25.9%
2019年12月	14.7%	9.8%	16.3%	19.3%
2019年1月	6.9%	10.9%	5.7%	3.3%
2019年2月	11.7%	5.4%	13.8%	12.8%
2019年3月	0.5%	-	0.7%	0.8%
2019年4月	1.1%	-	1.4%	0.5%
2019年5月	-	-	-	0.3%
2019年6月	-	-	-	0.3%
2019年7月以降	2.4%	3.3%	2.1%	0.3%
実施する予定だが、時期は全く未定	2.9%	1.1%	3.5%	2.8%

業界研究セミナーの開始時期



	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2019年卒	2.7%	2.4%	2.9%	4.2%	0.8%	0.0%	3.2%	17.0%	23.9%	18.0%	7.7%	13.3%	0.8%	1.1%	0.3%	0.0%	1.9%
2018年卒※前年調査	2.2%	3.0%	2.7%	2.7%	1.0%	0.0%	1.2%	19.7%	26.2%	20.4%	4.7%	13.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%
2020年卒予定	2.9%	2.4%	3.7%	4.3%	2.4%	0.5%	2.9%	19.7%	20.8%	14.7%	6.9%	11.7%	0.5%	1.1%	0.0%	0.0%	2.4%

4) 採用広報を目的とした学内企業説明会について

採用広報を目的とした学内企業説明会の実施

	全体(n=471)	国公立(n=105)	私立(n=366)	参考:前年調査
実施している	88.3%	89.5%	88.0%	88.8%
実施していない	11.7%	10.5%	12.0%	11.2%

2019年卒学生の延べ参加人数は2018年卒と比較して

	全体(n=398)	国公立(n=89)	私立(n=309)	参考:前年調査
増えた	19.8%	15.7%	21.0%	23.6%
前年度並み	42.2%	37.1%	43.7%	46.0%
減った	37.9%	47.2%	35.3%	30.4%

2019年卒学生の延べ参加人数の増減の割合

	全体(n=398)	国公立(n=89)	私立(n=309)	参考:前年調査
10割以上増加	-	-	-	0.7%
9割増加	0.3%	-	0.3%	-
8割増加	0.3%	-	0.3%	-
7割増加	0.3%	1.1%	-	0.2%
6割増加	0.8%	1.1%	0.6%	0.7%
5割増加	0.5%	-	0.6%	1.4%
4割増加	0.5%	2.2%	-	0.5%
3割増加	2.0%	2.2%	1.9%	2.5%
2割増加	3.5%	2.2%	3.9%	4.8%
1割増加	7.3%	3.4%	8.4%	9.2%
増加(割合無回答)	4.5%	3.4%	4.9%	3.7%
前年度並み(増減はなさそう)	42.2%	37.1%	43.7%	46.0%
1割減少	8.5%	13.5%	7.1%	11.2%
2割減少	8.8%	13.5%	7.4%	6.9%
3割減少	7.0%	10.1%	6.1%	2.3%
4割減少	1.8%	1.1%	1.9%	0.9%
5割減少	1.8%	1.1%	1.9%	1.1%
6割減少	0.3%	-	0.3%	-
7割減少	0.3%	-	0.3%	0.2%
8割減少	-	-	-	0.2%
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	9.5%	7.9%	10.0%	7.6%

2019年卒向け開催回数(日数)は2018年卒と比べて

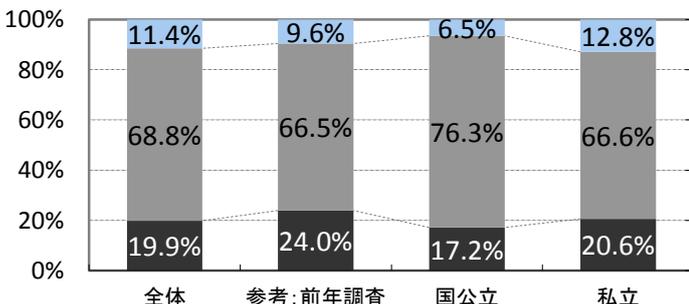
	全体(n=413)	国公立(n=93)	私立(n=320)	参考:前年調査
増やした/増やす予定	19.9%	17.2%	20.6%	24.0%
前年度並み	68.8%	76.3%	66.6%	66.5%
減らした/減らす予定	11.4%	6.5%	12.8%	9.6%

2019年卒向け開催時期は2018年卒と比べて

	全体(n=414)	国公立(n=94)	私立(n=320)	参考:前年調査
早めた/早める予定	11.8%	13.8%	11.3%	12.8%
前年度並み	87.2%	86.2%	87.5%	85.3%
遅らせた/遅らせる予定	1.0%	-	1.3%	1.9%

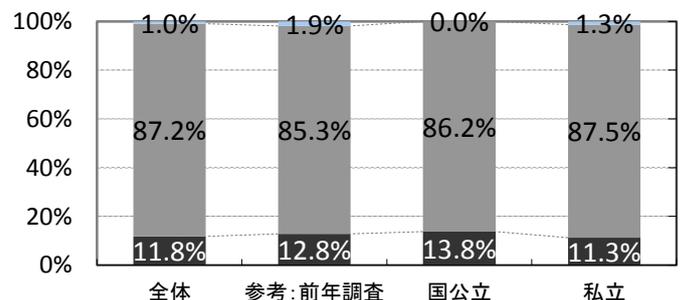
学内企業説明会開催回数(日数)は2018年卒と比べて

■ 増やした/増やす予定 ■ 前年度並み ■ 減らした/減らす予定



学内企業説明会開催時期は2018年卒と比べて

■ 早めた/早める予定 ■ 前年度並み ■ 遅らせた/遅らせる予定



<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

2019年卒向け学内企業説明会の開始時期	全体(n=410)	国公立(n=90)	私立(n=320)	参考:前年調査
2018年1月以前	3.4%	3.3%	3.4%	3.5%
2018年2月	6.8%	1.1%	8.4%	5.5%
2018年3月	70.0%	82.2%	66.6%	75.1%
2018年4月	11.2%	3.3%	13.4%	8.4%
2018年5月	3.2%	3.3%	3.1%	2.6%
2018年6月	2.2%	1.1%	2.5%	1.8%
2018年7月	0.7%	-	0.9%	0.2%
2018年8月	0.2%	-	0.3%	0.4%
2018年9月	0.2%	-	0.3%	0.4%
2018年10月	1.0%	3.3%	0.3%	0.4%
2018年11月	-	-	-	0.2%
2018年12月	-	-	-	0.7%
2019年1月	-	-	-	-
2019年2月	0.5%	-	0.6%	-
2019年3月以降	0.5%	2.2%	-	0.7%

2020年卒向け学内企業説明会の開始予定時期	全体(n=401)	国公立(n=90)	私立(n=311)	参考:前年調査
2019年1月以前	4.0%	3.3%	4.2%	3.9%
2019年2月	9.0%	2.2%	10.9%	7.9%
2019年3月	68.1%	77.8%	65.3%	73.7%
2019年4月	9.0%	5.6%	10.0%	7.7%
2019年5月	2.2%	2.2%	2.3%	1.5%
2019年6月	2.2%	1.1%	2.6%	1.1%
2019年7月	0.7%	1.1%	0.6%	-
2019年8月	0.2%	-	0.3%	0.4%
2019年9月	0.2%	-	0.3%	-
2019年10月	0.2%	1.1%	-	0.4%
2019年11月	0.2%	-	0.3%	0.2%
2019年12月	0.7%	1.1%	0.6%	0.2%
2020年1月	-	-	-	-
2020年2月	0.5%	-	0.6%	0.2%
2020年3月以降	2.5%	4.4%	1.9%	2.6%

学内企業説明会の開始時期



<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

	全体(n=370)	国公立(n=87)	私立(n=283)	参考:前年調査
2019年卒向けのこれまでの延べ参加企業数平均	168.6	180.9	164.8	171.0

	全体(n=300)	国公立(n=63)	私立(n=237)	参考:前年調査
内、2019年卒向けから新規参入の企業数平均	22.2	26.6	21.0	21.0

	全体(n=293)	国公立(n=62)	私立(n=231)	参考:前年調査
新規参入企業数の全参加企業数に対する割合平均	21.7%	16.0%	23.3%	24.0%

※延べ参加企業数と新規参入企業数の両方に回答した学校で集計

参加企業数の分布	全体(n=370)	国公立(n=87)	私立(n=283)	参考:前年調査
100社未満	48.6%	42.5%	50.5%	47.9%
100～199社	21.6%	20.7%	21.9%	21.6%
200～299社	11.1%	11.5%	11.0%	11.9%
300～399社	7.6%	14.9%	5.3%	6.2%
400～499社	4.1%	5.7%	3.5%	5.0%
500～599社	3.0%	1.1%	3.5%	2.5%
600～699社	1.4%	2.3%	1.1%	2.0%
700～799社	1.4%	1.1%	1.4%	1.2%
800社以上	1.4%	-	1.8%	1.7%

新規参入企業数の分布	全体(n=300)	国公立(n=63)	私立(n=237)	参考:前年調査
10社未満	39.7%	36.5%	40.5%	37.9%
10～19社	24.0%	22.2%	24.5%	27.4%
20～29社	11.0%	11.1%	11.0%	11.7%
30～39社	9.7%	9.5%	9.7%	8.2%
40～49社	3.7%	3.2%	3.8%	2.8%
50～59社	5.0%	7.9%	4.2%	4.4%
60～99社	2.7%	4.8%	2.1%	3.5%
100社以上	4.3%	4.8%	4.2%	4.1%

新規参入企業数の全参加企業数に対する割合分布	全体(n=293)	国公立(n=62)	私立(n=231)	参考:前年調査
10%未満	29.0%	29.0%	29.0%	31.0%
10%以上20%未満	29.0%	37.1%	26.8%	27.7%
20%以上30%未満	22.5%	21.0%	22.9%	19.4%
30%以上40%未満	7.2%	8.1%	6.9%	9.0%
40%以上50%未満	3.1%	1.6%	3.5%	4.5%
50%以上60%未満	3.8%	3.2%	3.9%	4.2%
60%以上70%未満	1.0%	-	1.3%	1.0%
70%以上80%未満	1.4%	-	1.7%	0.6%
80%以上90%未満	0.3%	-	0.4%	0.6%
90%以上100%未満	-	-	-	-
100%	2.7%	-	3.5%	1.9%

※延べ参加企業数と新規参入企業数の両方に回答した学校で集計

5)新卒紹介について

新卒紹介における各校の状況	全体(n=459)	国公立(n=106)	私立(n=353)	参考:前年調査
特に何もしていない	46.0%	58.5%	42.2%	41.3%
情報は集めているが、学生には勧めていない	9.6%	9.4%	9.6%	8.1%
希望学生に個別に案内している	21.1%	17.0%	22.4%	25.5%
希望学生のための登録会を実施している	14.2%	5.7%	16.7%	12.1%
なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	9.2%	9.4%	9.1%	12.9%

新卒紹介の案内開始希望月	全体(n=291)	国公立(n=63)	私立(n=228)
2年次3月以前	1.0%	-	1.3%
3年次4月	6.2%	9.5%	5.3%
3年次5月	6.2%	4.8%	6.6%
3年次6月	5.8%	7.9%	5.3%
3年次7月	0.7%	-	0.9%
3年次8月	-	-	-
3年次9月	2.7%	3.2%	2.6%
3年次10月	4.5%	7.9%	3.5%
3年次11月	0.3%	-	0.4%
3年次12月	4.5%	6.3%	3.9%
3年次1月	2.4%	4.8%	1.8%
3年次2月	2.1%	1.6%	2.2%
3年次3月	18.2%	17.5%	18.4%
4年次4月	4.8%	1.6%	5.7%
4年次5月	3.4%	4.8%	3.1%
4年次6月	7.9%	14.3%	6.1%
4年次7月	4.8%	1.6%	5.7%
4年次8月	3.1%	1.6%	3.5%
4年次9月	2.7%	-	3.5%
4年次10月	9.6%	9.5%	9.6%
4年次11月	0.3%	-	0.4%
4年次12月	2.1%	-	2.6%
4年次1月	4.5%	3.2%	4.8%
4年次2月	1.4%	-	1.8%
4年次3月	0.7%	-	0.9%

新卒紹介における今後の対応	全体(n=420)	国公立(n=98)	私立(n=322)	参考:前年調査
より積極的に案内したい	11.0%	7.1%	12.1%	12.6%
案内してもよい	18.6%	14.3%	19.9%	26.5%
どちらともいえない	55.5%	68.4%	51.6%	51.2%
できれば案内したくない	11.9%	8.2%	13.0%	8.2%
絶対に案内したくない	3.1%	2.0%	3.4%	1.5%

6) 保護者向けガイダンスについて

保護者向けガイダンスの実施	全体(n=483)	国公立(n=108)	私立(n=375)	参考:前年調査
毎年実施している	57.1%	30.6%	64.8%	57.3%
毎年ではないが不定期に実施している	3.5%	4.6%	3.2%	2.8%
実施していない	39.3%	64.8%	32.0%	39.8%

保護者向けガイダンスの内容(複数回答)	全体(n=292)	国公立(n=37)	私立(n=255)	参考:前年調査
自校の就職実績報告	92.8%	86.5%	93.7%	91.7%
自校の就職支援内容	94.9%	91.9%	95.3%	93.3%
最新の就職事情	89.4%	78.4%	91.0%	89.2%
親から子への就活アドバイス方法	73.3%	73.0%	73.3%	69.7%
親としての役割	67.8%	73.0%	67.1%	70.4%
就職に関する基礎情報(スケジュールや就活関連ワード)	82.2%	73.0%	83.5%	79.0%
人事担当者の考え方や選考基準	35.3%	18.9%	37.6%	36.9%
卒業生や内定者の就活体験談	39.4%	40.5%	39.2%	38.2%
その他	3.4%	-	3.9%	4.1%

2018年度(2018年4月～2019年3月)の保護者向けガイダンスの延べ実施回数

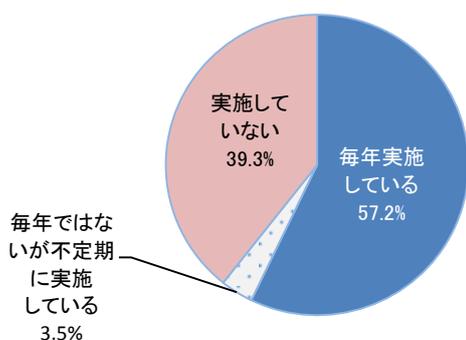
※前年調査

	全体(n=287)	国公立(n=38)	私立(n=249)	参考:2018年度※
年間平均実施回数(予定を含む)	3.8	1.5	4.1	4.0

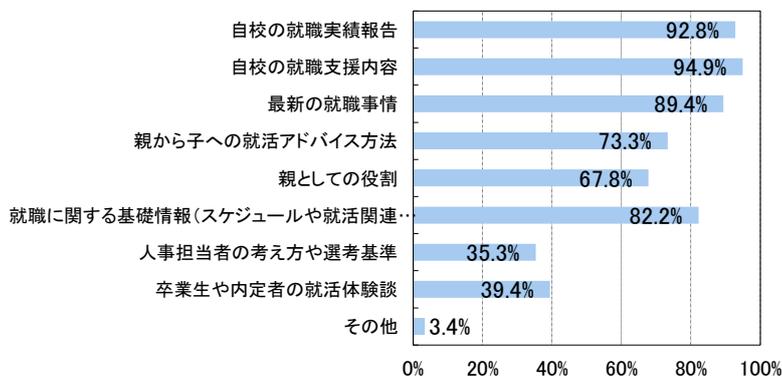
2018年度(2018年4月～2019年3月)の保護者向けガイダンスの実施月(予定含む)

	全体(n=279)	国公立(n=37)	私立(n=242)
2018年4月	5.7%	-	6.6%
2018年5月	14.0%	2.7%	15.7%
2018年6月	24.4%	16.2%	25.6%
2018年7月	7.5%	13.5%	6.6%
2018年8月	2.9%	2.7%	2.9%
2018年9月	16.8%	5.4%	18.6%
2018年10月	14.3%	40.5%	10.3%
2018年11月	6.8%	13.5%	5.8%
2018年12月	2.5%	2.7%	2.5%
2019年1月	0.7%	-	0.8%
2019年2月	2.5%	2.7%	2.5%
2019年3月	1.4%	-	1.7%
実施する予定だが、時期は全く未定	0.4%	-	0.4%

保護者向けガイダンスの実施



保護者向けガイダンスの内容



<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

2017年度(2017年4月～2018年3月)の延べ参加人数は前回実施年度に比べて

	全体(n=268)	国公立(n=32)	私立(n=236)	参考:前年調査
増加	10.1%	15.6%	9.3%	16.6%
前年度並み	77.2%	71.9%	78.0%	75.1%
減少	12.7%	12.5%	12.7%	8.3%

参加人数の増減の割合	全体(n=268)	国公立(n=32)	私立(n=236)	参考:前年調査
10割増加	0.4%	-	0.4%	-
9割増加	-	-	-	0.7%
8割増加	-	-	-	-
7割増加	-	-	-	-
6割増加	-	-	-	-
5割増加	-	-	-	-
4割増加	0.4%	-	0.4%	-
3割増加	0.7%	-	0.8%	3.2%
2割増加	3.0%	6.3%	2.5%	3.2%
1割増加	5.6%	9.4%	5.1%	5.1%
増加(割合無回答)	4.5%	3.1%	4.7%	4.3%
前年度並み(増減はなさそう)	77.2%	71.9%	78.0%	75.1%
1割減少	4.5%	3.1%	4.7%	4.3%
2割減少	1.5%	6.3%	0.8%	1.4%
3割減少	0.4%	-	0.4%	0.7%
4割減少	-	-	-	0.4%
5割減少	-	-	-	0.4%
6割減少	0.4%	-	0.4%	-
7割減少	-	-	-	-
8割減少	-	-	-	-
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	1.5%	-	1.7%	1.1%

7)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

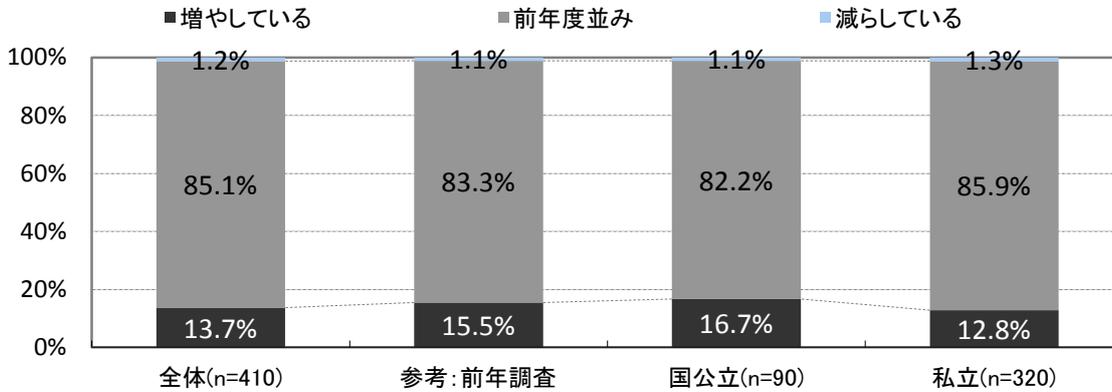
キャリア教育(正課)を実施しているか

	全体(n=482)	国公立(n=107)	私立(n=375)	参考:前年調査
はい	88.2%	86.0%	88.8%	87.5%
いいえ	11.8%	14.0%	11.2%	12.5%

キャリア教育の実施回数の増減

	全体(n=410)	国公立(n=90)	私立(n=320)	参考:前年調査
増やしている	13.7%	16.7%	12.8%	15.5%
前年度並み	85.1%	82.2%	85.9%	83.3%
減らしている	1.2%	1.1%	1.3%	1.1%

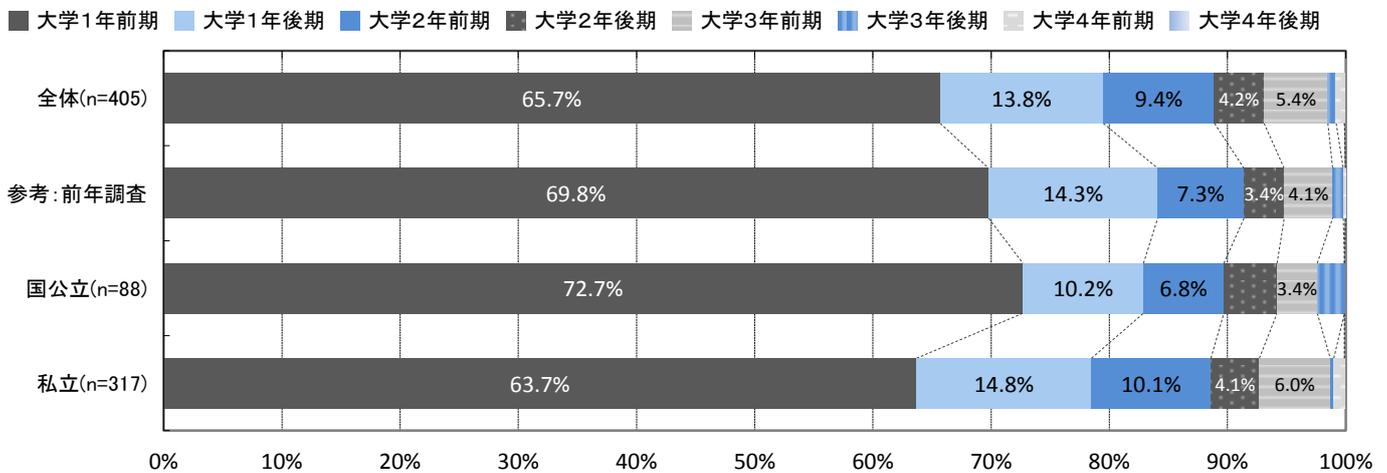
キャリア教育の回数の増減



キャリア教育の開始時期

	全体(n=405)	国公立(n=88)	私立(n=317)	参考:前年調査
1年次前期	65.7%	72.7%	63.7%	69.8%
1年次後期	13.8%	10.2%	14.8%	14.3%
2年次前期	9.4%	6.8%	10.1%	7.3%
2年次後期	4.2%	4.5%	4.1%	3.4%
3年次前期	5.4%	3.4%	6.0%	4.1%
3年次後期	0.7%	2.3%	0.3%	0.9%
4年次前期	0.7%	-	0.9%	0.2%
4年次後期	-	-	-	-

キャリア教育の開始時期



<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

大学で実施する、単位認定をしている
インターンシップはあるか

	全体(n=480)	国公立(n=106)	私立(n=374)	参考:前年調査
はい	82.5%	86.8%	81.3%	82.2%
いいえ	17.5%	13.2%	18.7%	17.8%

インターンシップの経験は、学生の就職活動の
結果に対してよい影響を及ぼすか

	全体(n=479)	国公立(n=108)	私立(n=371)	参考:前年調査
非常に効果があると思う	27.6%	29.6%	27.0%	25.6%
一定の効果はあると思う	69.3%	63.9%	70.9%	70.1%
特に効果は無いと思う	1.5%	2.8%	1.1%	1.4%
特に意見は無い	0.6%	0.9%	0.5%	0.8%
その他	1.0%	2.8%	0.5%	2.1%

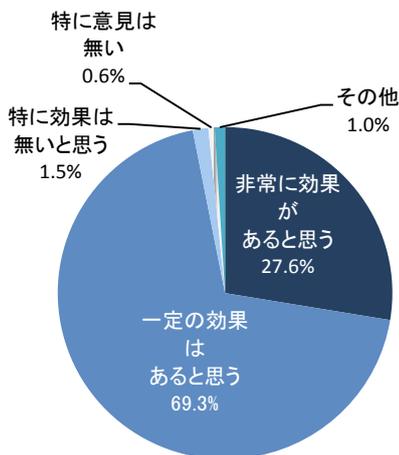
有償インターンシップについての考え

	全体(n=464)	国公立(n=104)	私立(n=360)
積極的に推奨したい	5.8%	5.8%	5.8%
推奨したい	16.6%	14.4%	17.2%
あまり推奨したくない	26.9%	27.9%	26.7%
まったく推奨したくない	4.5%	1.9%	5.3%
特に意見はない	46.1%	50.0%	45.0%

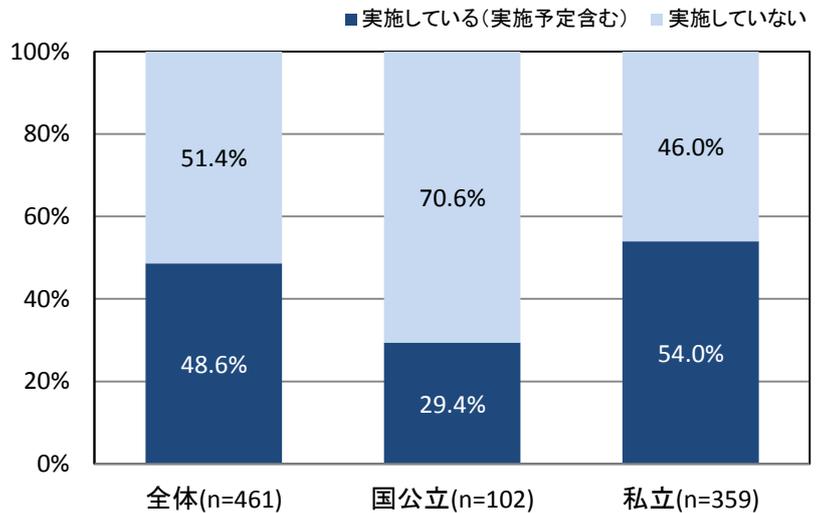
低学年向けのアセスメントツール実施有無について

	全体(n=461)	国公立(n=102)	私立(n=359)
実施している(実施予定含む)	48.6%	29.4%	54.0%
実施していない	51.4%	70.6%	46.0%

インターンシップの経験は、
学生の就職活動の結果に対してよい影響を及ぼすか



低学年向けのアセスメントツール実施有無について



8)グローバル人材について

	全体(n=201)	国公立(n=35)	私立(n=166)	参考:前年調査
外国人留学生の国内就職希望者数平均	18.3	32.1	15.3	20.0

外国人留学生の就職希望者数の分布	全体(n=201)	国公立(n=35)	私立(n=166)	参考:前年調査
0人	31.3%	17.1%	34.3%	25.2%
1~9人	27.9%	37.1%	25.9%	36.3%
10~29人	20.9%	14.3%	22.3%	18.6%
30~49人	10.0%	14.3%	9.0%	10.2%
50~99人	5.0%	5.7%	4.8%	6.2%
100人以上	5.0%	11.4%	3.6%	3.5%

外国人留学生向けの就職支援を実施しているか	全体(n=425)	国公立(n=99)	私立(n=326)	参考:前年調査
日本人学生と区別して実施している	37.9%	38.4%	37.7%	38.5%
日本人学生と区別せず実施している	36.2%	46.5%	33.1%	38.0%
今年度実施予定はある	1.4%	1.0%	1.5%	2.0%
実施しておらず、当座の実施予定もない	24.5%	14.1%	27.6%	21.5%

実施しているプログラムの内容(複数回答)	全体(n=284)	国公立(n=73)	私立(n=211)	参考:前年調査
外国人留学生限定の日本の就職活動に関するガイダンス	66.5%	58.9%	69.2%	65.0%
外国人留学生向け学内合同企業説明会	12.7%	8.2%	14.2%	8.4%
専任担当による個別相談	42.3%	37.0%	44.1%	40.6%
模擬面接	52.8%	57.5%	51.2%	57.5%
エントリーシート添削	58.5%	60.3%	57.8%	62.5%
就職活動マナー講座	43.7%	54.8%	39.8%	43.8%
日本語講座	16.9%	13.7%	18.0%	12.5%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	26.1%	17.8%	28.9%	25.9%
就職情報サイト登録会	22.5%	17.8%	24.2%	24.1%
その他	6.0%	4.1%	6.6%	7.5%

今後注力したいプログラムの内容(複数回答)	全体(n=208)	国公立(n=51)	私立(n=157)	参考:前年調査
外国人留学生向けの日本での就職活動に関するガイダンス	47.6%	45.1%	48.4%	51.6%
外国人留学生向け学内合同企業説明会	21.2%	15.7%	22.9%	15.2%
専任担当による個別相談	27.9%	25.5%	28.7%	28.7%
模擬面接	24.5%	37.3%	20.4%	32.7%
エントリーシート添削	26.0%	33.3%	23.6%	32.3%
就職活動マナー講座	25.0%	35.3%	21.7%	31.8%
日本語講座	16.3%	17.6%	15.9%	16.1%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	26.4%	23.5%	27.4%	29.6%
就職情報サイト登録会	11.1%	7.8%	12.1%	14.3%
その他	4.8%	3.9%	5.1%	6.3%

<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

日本人留学経験者への特別な就職支援の実施	全体(n=419)	国公立(n=101)	私立(n=318)	参考:前年調査
実施している	18.9%	16.8%	19.5%	16.4%
今年度初めて行う予定がある	1.7%	2.0%	1.6%	1.8%
実施しておらず、当座の実施予定もない	79.5%	81.2%	78.9%	81.8%

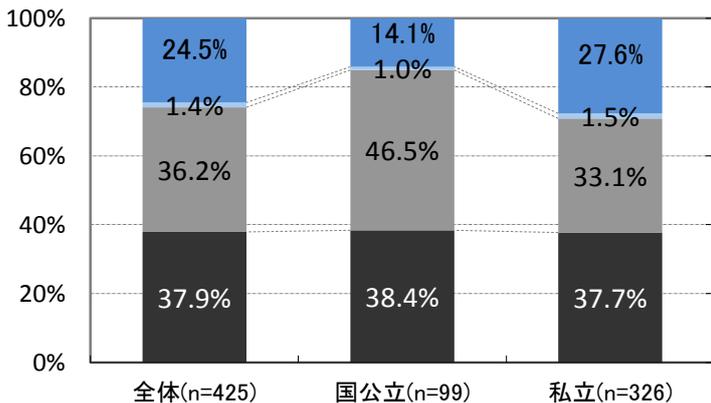
日本人留学経験者に実施しているプログラム(複数回答)	全体(n=82)	国公立(n=18)	私立(n=64)	参考:前年調査
留学出発前の就職ガイダンス	62.2%	61.1%	62.5%	67.5%
留学中の情報提供(メール等)	45.1%	22.2%	51.6%	46.3%
留学帰国後の就職ガイダンス	48.8%	44.4%	50.0%	47.5%
専任担当による個別相談	46.3%	38.9%	48.4%	30.0%
英文レジュメの指導	7.3%	5.6%	7.8%	6.3%
その他	8.5%	-	10.9%	12.5%

今後注力したいプログラム(複数回答)	全体(n=49)	国公立(n=12)	私立(n=37)	参考:前年調査
留学出発前の就職ガイダンス	51.0%	41.7%	54.1%	52.9%
留学中の情報提供(メール等)	26.5%	33.3%	24.3%	37.9%
留学帰国後の就職ガイダンス	53.1%	66.7%	48.6%	62.1%
専任担当による個別相談	38.8%	41.7%	37.8%	32.2%
英文レジュメの指導	12.2%	-	16.2%	6.9%
その他	4.1%	-	5.4%	4.6%

マイナビの日本人留学生就職支援について知っているか	全体(n=416)	国公立(n=97)	私立(n=319)	参考:前年調査
はい	53.6%	59.8%	51.7%	58.9%
いいえ	46.4%	40.2%	48.3%	41.1%

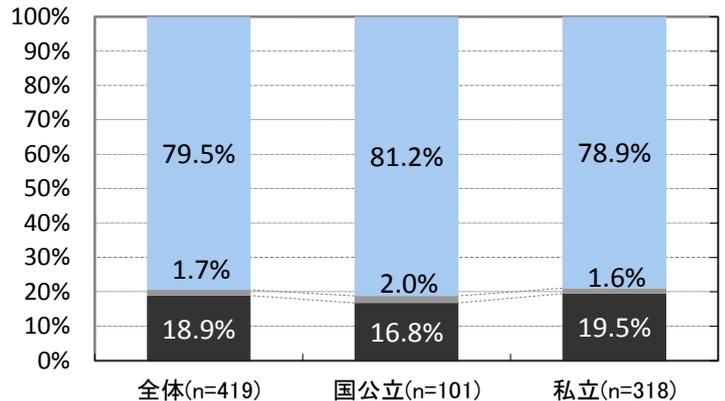
外国人留学生向けの就職支援を実施しているか

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度実施予定はある
- 日本人学生と区別せず実施している
- 日本人学生と区別して実施している



日本人留学経験者への特別な就職支援の実施

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度初めて行う予定がある
- 実施している



9)理想とする、就職活動に最も適したスケジュール

2021年卒の就職活動スケジュールにおいて
広報活動開始時期は現状と比べて

	全体(n=461)	国公立(n=102)	私立(n=359)
早い方がよい	36.7%	33.3%	37.6%
現状維持	61.6%	66.7%	60.2%
遅いほうがよい	1.7%	-	2.2%

※回答のなかった月は省略

理想の広報開始月はいつ頃か	全体(n=393)	国公立(n=84)	私立(n=309)	参考:前年調査
1年次4月	0.8%	-	1.0%	0.4%
1年次12月	0.5%	-	0.6%	
2年次4月	0.8%	-	1.0%	-
2年次10月	0.3%	-	0.3%	-
2年次12月	0.5%	1.2%	0.3%	-
2年次2月	0.5%	-	0.6%	0.9%
2年次3月	2.3%	3.6%	1.9%	1.7%
3年次4月	1.5%	3.6%	1.0%	2.0%
3年次5月	0.3%	-	0.3%	0.4%
3年次6月	0.5%	1.2%	0.3%	-
3年次7月	0.3%	-	0.3%	0.2%
3年次8月	0.3%	-	0.3%	0.9%
3年次9月	1.0%	1.2%	1.0%	0.7%
3年次10月	3.3%	4.8%	2.9%	3.3%
3年次11月	0.3%	-	0.3%	0.4%
3年次12月	31.8%	29.8%	32.4%	37.8%
3年次1月	4.3%	1.2%	5.2%	3.7%
3年次2月	4.8%	2.4%	5.5%	7.6%
3年次3月(2019年卒の広報開始時期と同じ)	42.2%	47.6%	40.8%	33.7%
4年次4月	1.5%	1.2%	1.6%	0.9%
4年次6月	0.3%	-	0.3%	0.9%
4年次7月	0.3%	-	0.3%	-
4年次8月	0.3%	-	0.3%	0.9%
4年次10月	0.3%	-	0.3%	
4年次12月	0.3%	-	0.3%	0.7%
4年次3月	0.5%	-	0.6%	0.9%
卒業後	0.5%	2.4%	-	1.3%

<2018年度キャリア・就職支援への取り組み調査>

2021年卒の就職活動スケジュールにおいて
選考開始時期は現状と比べて

	全体(n=456)	国公立(n=100)	私立(n=356)
早い方がよい	41.0%	37.0%	42.1%
現状維持	57.5%	63.0%	55.9%
遅いほうがよい	1.5%	-	2.0%

※回答のなかった月は省略

理想の選考開始月はいつ頃か	全体(n=390)	国公立(n=83)	私立(n=307)	参考:前年調査
1年次4月	0.3%	-	0.3%	0.2%
1年次3月	0.3%	-	0.3%	0.2%
2年次4月	0.5%	-	0.7%	-
2年次5月	0.3%	1.2%	-	-
2年次6月	0.5%	-	0.7%	-
2年次9月	0.3%	-	0.3%	-
2年次10月	0.3%	-	0.3%	-
2年次1月	0.3%	1.2%	-	-
2年次2月	0.5%	-	0.7%	-
2年次3月	1.5%	1.2%	1.6%	1.7%
3年次4月	1.5%	1.2%	1.6%	2.0%
3年次6月	1.0%	2.4%	0.7%	0.4%
3年次7月	0.3%	-	0.3%	0.2%
3年次9月	0.3%	1.2%	-	0.9%
3年次10月	0.3%	1.2%	-	0.7%
3年次12月	1.8%	-	2.3%	3.3%
3年次1月	0.3%	-	0.3%	0.4%
3年次2月	3.1%	1.2%	3.6%	37.8%
3年次3月	22.3%	15.7%	24.1%	3.7%
4年次4月	24.6%	25.3%	24.4%	7.6%
4年次5月	2.3%	2.4%	2.3%	33.7%
4年次6月(2019年卒の選考開始時期と同じ)	33.3%	41.0%	31.3%	0.9%
4年次7月	0.8%	1.2%	0.7%	0.2%
4年次8月	1.5%	-	2.0%	0.9%
4年次9月	0.5%	-	0.7%	0.9%
4年次10月	0.8%	1.2%	0.7%	0.7%
4年次2月	0.3%	-	0.3%	0.9%
卒業後	0.5%	2.4%	-	1.3%

10)自由記述

昨今のインターンシップ事情について<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	国公立	就業体験型(5日以上)を期待します。
東北	私立	大学を通して行うISで、学生の希望実施時期と企業の実施時期がなかなかマッチしない。学生の経済的負担によるインターンシップへの参加数不足。
北陸	国公立	3年次のインターンシップに多くの学生が参加するようになりました。授業の欠席等、様々な課題も生じますが、結果として、インターンシップに参加している学生は早くに内定をいただく傾向が見えます。
北陸	私立	1dayインターンシップの名称変更。
関東	私立	採用を前提としたインターンシップが多すぎる。まったく規制されていないのが現状。
関東	私立	採用を意識した1DAYが急増しているので、学生にもそのニュアンスを伝えたいが、ガイダンスへの参加が低いので全員に伝えられていない。目的意識も持たず「なんとなく行かなくちゃいけない」という周囲の雰囲気。
関東	私立	本学では5日以上のインターンシップに対して単位認定をしているが、近年1day,2dayのインターンシップが主流となり、5日以上のインターンシップを希望する学生が減少している。
中国	私立	企業の受入姿勢の変化が気になります。受入をお願いしたい企業があったとしても1～3日程であれば受け入れるが、5日以上となると急激に選択肢が狭まる。表向きには言わないまでも、採用選考直結(母集団形成)に利用しようという気持ちが強すぎるのでは？
関西	私立	自治体、官公庁の大学を経由したインターンシップが増えており、業務が煩雑になる一方です。
九州	国公立	遠方の学生には交通費や宿泊の配慮を企業側にお願したい。
中国	私立	1dayインターンシップなど「就業体験」の名にふさわしくないものが横行している。
東海	私立	就業体験を伴わないと想像できるプログラムが多くなってきていると感じられる。
関西	私立	インターンシップ制度が企業様に浸透してきたと実感する。特に、最近では、「教育活動の一環としてのインターンシップ」という意識をもって学生を預かってくださる企業様が増え、教えていただけることも大変多い。
関西	私立	1Dayであっても「働くこと」をリアルに体験、考えられる内容を工夫いただきたい。
東北	国公立	採用活動との垣根があやふやで、分かりにくい。
関東	私立	本来の意味である、就業体験、を実施しようという企業も出てきた。
九州	私立	3年後期から4年にかけての1日インターンシップと称するものは、業界説明会、企業説明会とした方が実態に合う。インターンシップは最低でも3日以上の職場体験を伴うものである必要がある。
東海	国公立	短期間でのインターンシップ開催が増加しているが、就業体験について十分な日程が確保されているか懸念がある。学生には、より実習内容を重視した選択ができるよう指導を行いたい。また、インターンシップが実質的な選考の早期化・長期化につながっていることを懸念している。
関東	私立	正課内で行う、本来のインターンシップの意味合いが崩れてきている。3年次夏の公募型インターンシップの重要性が叫ばれれば、正課授業でのインターンシップの意味が薄れる。大学としても、その意味合いの違いを明確に学生と親、教職員などすべての利害関係者に説明しなければならないと思う。
東海	私立	ミスマッチを防ぐ意味では効果的かと思うが、早い時期から学生が企業に接することで、採用選考に影響していないとも言えず、採用スケジュールが変更されない限り早期化は避けられないかと思えます。
甲信越	公立	正課での人数は減っているが、ワンデーへの参加人数は増えている。
関西	私立	短期インターンシップを採用の一環とする場合、インターンシップ不参加者が不利にならないよう配慮いただきたい。
関西	私立	まさしく採用の一環となっており、学内の就職イベントより優先して参加している。
関東	私立	実質採用試験に直結している一方、学生にその意識が薄く問題視している
北海道	国公立	学生たちが業界のことや現場の空気などを知ることができる貴重な機会であると考えられる。しかし就職活動の手段として、就職活動開始の早期化に拍車をかけていることも否めず、学生の成長を促すための取組であることを学校・企業ともに改めて見直していくべきでは。
東海	私立	ミスマッチを防ぐ意味では効果的かと思うが、早い時期から学生が企業に接することで、採用選考に影響していないとも言えず、採用スケジュールが変更されない限り早期化は避けられないかと思えます。

有償のインターンシップについて<一部抜粋>

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	弊学の学生は勤務経験のある留学生が多く在籍しており、成果を求められる内容のほうが人気が高い。対価に見合った働きができる自信を持っている学生が多い。
東北	私立	有償であっても、学生の意識はアルバイトとは異なる。お金がもらえて「ラッキー」という感覚より責任感が勝り、学びが深まるのではないかと。
北陸	国公立	有償インターンシップの参加を理由に授業の欠席が懸念される。
関東	私立	インターンシップの教育効果のひとつに、学修目的(社会と大学生活の繋がり)への気づきがある。つまり、インターンシップによる学修意欲の向上。しかし、この効果は、現状多く行われている3年生夏では遅い。しかし、低学年時にインターンシップは学生にはなかなか響かない。なぜなら低学年インターンシップのメリットが学生には感じ難いため。よって、有償インターンシップ(アルバイトとインターンシップの融合)を推奨したい。現在、試験的に10名弱の2年生が体験中。
中国	私立	期間やプログラム内容にもよるが、現場社員によるOJTやPDCAサイクルを視野に入れての勤務体験は、ビジネスマナーの習得をはじめ、自身の働き方に対する考え方や適性の有無、企業研究や仕事をするということへの認識や意識をブラッシュアップしてくれるものとする。
東北	国公立	地方大学から県外企業へ参加する場合、費用負担の軽減と意識向上のため。
関西	国公立	報酬目的になっても困る。あくまでも体験である。
九州	国公立	有償の場合は、ある程度責任があり、難易度も比較的高い仕事に参加学生に課されることになり、学生にとって良い経験になるのではないかと。
甲信越	国公立	就職に直結する可能性がある。
中国	私立	「就業体験」という目的があれば、「有償」ということが参加の動機になることは悪いことではないと思う。ただ、現状アルバイトの募集も人手不足が著しいため、名を変えた「アルバイト」ではあってはならないと思う。
中国	私立	有償インターンシップは選考の一貫として行われるのでその点では推奨していますが、一方で、有償インターンシップは長期間行われることが度々あり、その期間他社のインターンシップが受けられない面があるので、参加を検討する本人にお任せしています。
中国	私立	長期間参加することで働くことへの理解促進につながり、有償であることからより責任感なども生まれると考える。また、研修先への理解と主に就職活動への意識も生まれると考える。
九州	国公立	①経済的な理由でアルバイトをしている学生にとっては、特に長期間のインターンシップに参加するのが困難②有償の場合は、ある程度責任があり、難易度も比較的高い仕事に参加学生に課されることになり、学生にとって良い経験になるのではないかとと思われるため。
東海	私立	本学では、報酬が得られるインターンシップの単位化は認めていない。
関東	私立	インターンシップは学びの場という本来の目的から考えると有償にすべきではないと考える。また、有償にすることで本来の目的とは異なり、会社戦力として労働させられることも懸念される。
関東	国公立	企業は交通費や宿泊費等を学生個別に計算せず、一律に日当として支払う場合があり、区別が難しいこと。教育内容さえ良ければ、学生の学びに有償か否かは問題ではないこと。
関東	私立	推奨したいが、文部科学省の定義と合致していないため、各種調査のインターンシップ参加者数に参入できていないことが困難である。
関西	私立	アルバイトとの差別化が難しい。
関西	私立	インターンシップ先によっては、無償のアルバイト人材のようなインターンシップがあるため、有償インターンには賛成である。また、賞金が発生することによって、学生もただ参加するという中途半端な考えではなく、責任感を持ってインターンシップに参加する様になるのではと考えている。
九州	私立	報酬が支払われるのであれば、学生への交通費等の負担減にもなる。
東海	私立	事業所が行う有償インターンシップでは実習学生に求めるスキルが明確で、無償のインターンシップに比べ学生の自己分析力の高まりやスキルの向上に期待できる。
四国	私立	学生にはアルバイトと就業体験を混同してほしくない。学生が企業で就業体験をさせて頂いた上に報酬を頂くというやり方は正しいとは思わない。
関西	私立	プログラム内容が重要だと考える。
北海道	国公立	正課の一環で行われるインターンシップに報酬は必要ないとする。

今後の就職支援について<一部抜粋>

エリア	学区分	自由回答部分記載
関東	私立	外国人留学生の就職支援。
関東	私立	企業から推薦状の依頼が多すぎる。罰則規定などがない限りは基準は意味をなさないと思います。
関東	私立	就活開始時期はいつでも構わないが、企業としての活動期間を統一して欲しい。
関東	私立	6月の就職活動本番で教育実習と重なり苦悩している学生が大勢います。教育実習は授業の一環でもあり欠席等認められず、企業によっては考慮していただいているが、「考慮できない」という返事をいただく企業も多々あるのが現状です。一刻も早く就活スケジュールの変更を希望します。
四国	国公立	内定承諾書に保護者の署名捺印を求められたり、内定後に大学の推薦書の提出を求められたりするケースについて相談に来る学生が増えてきている。
中部	国公立	学生が理論武装をするような、内定を得るための就職支援ではなく、学生本来の姿を丁寧にかつしっかりと企業の方に表現し、その結果、学生にとって納得感の高い就職活動を行えるようにしていきたい。
中国	私立	低学年向けの就職支援について、他大学の先進事例を教えてください。
関東	私立	企業の「オワハラ」について年々さまざまな対応があり企業にとって不利になっているような感じが見受けられる。
中国	私立	広報活動開始日を3年次10月に戻すべき。今年もそうであるが、実際は夏期休暇から企業がインターンシップを実施して学生との接触を計っているため。
東海	私立	選考中の入社意志の確認をされることは学生の就職活動の選択・視野を狭めることにつながる。
関西	私立	内定承諾の期限を切ることについて。内定辞退が出やすい業界、企業に限って、選考時期が6月以前であるにも関わらず、早めの内定承諾の期限を迫る。これは両者にとって良いことなのか？学生には、内定承諾はできないなら待ってもらおうよう話をするよう指導しているが、難しい面もある。承諾後の辞退も絶対にダメという指導はしていないのが実情。企業側の事情も十分理解するが、早く期限を切ること疑問がある。
関西	私立	発達障害や特別支援の学生へのケア（これから、こうした学生は確実に増える）
関西	私立	インターンシップが法の抜け穴的に、実質的な採用活動になっているのは、良くないと思う。名目上はしていないとか、汚い大人のやり方のように思える。
関東	私立	AI、ピープルアナリティクスを活用した採用に対して、どのような支援をしていくべきか。
四国	私立	内定承諾書の法的取り扱いの明文化または就職活動終了を目的としている企業担当者への適切な指導をお願いしたい。
中国	私立	望ましい勤労観・職業観を養い、学びへの早期のフィードバックを考えると、1・2年生のインターンシップを模索していくことが求められるように感じる。そのことが狭義のキャリア教育である就職指導、就職支援に効果的であると考えます。
東北	国公立	夏期インターンシップの参加者が優遇されたり、秋・冬の1dayインターンシップが説明会になっていたり、就職活動が実質長期化している。地方の学生にとっては都市部の学生と比べて時間的・距離的・金銭的な負担が大きい。
関東	私立	採用数に満たない企業の再募集計画の情報収集。
関西	私立	本学と関係性の深い企業の中では通年採用に切り替える企業が増えていることもあり、「固定スケジュール」という既に形だけになっているものからそろそろ脱却する時期に日本はきているのではないかと考えていますので、こうしたスケジュールに関する設問が毎年続くことに違和感があります。就職活動はもっと自由でポジティブなもの、という意識を若者がどうしたら持てるのか、という視点からの支援を期待しています。
九州	私立	留学生への企業紹介・インターンシップ紹介等の充実。
中国	私立	内々定保有者の活動につきまして、企業の方とのやり取りにおいて問題が発生しないように、より一層指導をしてみたいと考えています。
中国	私立	経団連が定めた就職協定は、意味があるのでしょうか。
関西	国公立	内定時の「オワハラ」が多くなっているのが問題である。
関西	国公立	学生が「売り手市場」を信用し、就職活動を楽観視、あるいは状況把握が出来ないまま、就職活動時期を逸している学生が増加傾向にある。近年、学生意識の二極化が見受けられるため、現状を改善する取り組みが必要であると考えている。
関東	私立	精神手帳持参学生への採用求人情報